≪学校だより≫

さくら

重点目標：学び・成長を止めない子どもの育成
～わかるかも　できるかも～

令和8年度
小樽市立桜小学校
10月30日
第　8　号
桜小HP→

子どもの感性を育む

校長　金　井　建　憲

これまで「感性を育む」ことは、学校教育において大切にされてきました。自然体験や芸術鑑賞などさまざまな体験の機会から何かに気づき、考え、自分なりに表現する学習が行われています。子どもたちのこうした活動は人間形成や成長に欠かせないものであり、AI 時代になって改めて、この「感性」が重視されています。それは、感性が人間ならではの「強み」だからです。AI に何を任せ、人間は何をするのか。次期学習指導要領においても感性が重視されており、AI に振り回されず、自分で人生を舵取りするためには、『やりたいことをしっかり持てるかどうか』が大切であり、それを見つけるために欠かせないのも感性です。

先日、外で安全指導をしている私に「栗を拾ったからあげる。」と手渡してくれた子がいました。それを見ながら「秋だね」と言葉を交わした後、校長室の造花の横にその栗を置いておきました。すると、校長室に遊びに来た別の子が、「栗だ。でもペラペラだ。」と話し、何かをした後、「失礼しました。」といっていなくなりました。その子が残したのは、下の写真の贈り物でした。『栗色の桜』。





このような感性を育むには、五感を使った体験と知的好奇心が重要視されています。幼少期や小学生の頃から、様々な体験を通して自然と身についていきます。味覚や触覚、嗅覚はデジタルでは体験できませんので、スマホなどのデジタル媒体では不可能です。ぜひ、「食欲の秋」「芸術の秋」そして「読書の秋（語彙や表現が身につく）」を満喫して、感性を磨いてほしいと思います。

学習発表会の私のあいさつでも話させていただきましたが、行事を通して子どもたちは更に大きく成長します。自分で身につけた力をしっかりと発揮し、仲間と協力して発表を作り上げる姿に、自分のもつ感性を活かしながら頑張る素晴らしさを感じました。究極の「主体的な学び」になっていました。

インフルエンザの波も、徐々に感じられます。風邪予防に十分留意し、学び続けられるよう、家庭でも「睡眠・栄養・休養」について声かけをお願いします。

学習発表会～協力と笑顔を忘れずに、最高にかがやくステージを作り上げよう！～

24日の保護者公開日にはたくさんの方に来校いただきました。子どもたち一人ひとりが精一杯頑張る姿にたくさんのご声援、ありがとうございました。



1年生「くじらぐも」



2年生「スイミー」



3年生「モノ太郎侍とその仲間たち」







4年生「背骨のある動物たち With ツバメ」　5年生「響け!!!」　6年生「セロ弾きのゴーシュ」

小樽市「いじめ防止キャンペーン」
～いじめをしない　させない　みのがさない　ゆるさない～

今月、いじめアンケートを実施し、困っていることや悩んでいることなど、話を聞きました。

いじめ防止対策推進法では、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」としています。これからも見逃しOに向けて、指導を続けていきます。

小樽市でも 11/4（水）～12/31（木）の期間で取組が行われます。

ご家庭におかれましては、市教委から出されているチェックリスト（本日配付）も活用しながら、お子様の見守りをお願いいたします。何かお子様に変わった様子等がありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。スクールカウンセラーの面談を希望される方は、学校（54-6417）までご連絡ください。

随時受け付けております。　★毎週木曜日10時～16時

149→150 「校舎内にある卒業制作」



桜小学校が長く地域に根ざし、たくさんの卒業生を出したことを感じられる物の一つに、卒業制作があります。



校内のあちこちに、作品が残っています。上の写真は小さな布を貼り合わせ、校舎の様子を表した物で、左の都道府県地図は、木製です。

昨年度、今の5年生が産地調べで気付いたことを付箋で貼るなど、学習にも使われていました。来校の際は、ぜひご覧ください。